



# 多様性が生み出した 「アメリカ音楽」の魅力



## 「フォーク・ミュージック」

伝統的なフォーク・ミュージックがメッセージ性を持って復活した「ニュー・フォーク」は、シンガーソングライターを生み、その後の世界中の音楽に影響を及ぼしました。

## 🇺🇸 フォークリバイバルとニュー・フォーク

「フォーク（フォークミュージック）」とは本来、各地で古くから伝承されてきた民謡や民族音楽などを指します。しかし、アメリカにおける「フォーク」は、1950年代後半から1960年代に起きた「フォークリバイバル（フォークの復活）」というムーブメントから生まれた「ニュー・フォーク」と捉えられています。伝統的なフォークミュージックと区別するために、ニュー・フォークのほかに、「コンテンポラリー（現代の）・フォークミュージック」や「モダン・フォーク」などと呼ばれることもあります。フォークリバイバルにおけるフォークの歌詞は、公民権運動やベトナム戦争といった当時のアメリカの社会情勢を反映しています。反戦歌など政治的抗議のメッセージを含むプロテストソングが多く、大学生を中心とした若者に支持され大きなムーブメントとなりました。

## 🇺🇸 カントリーミュージック（カントリー）とのかかわり

カントリーとフォークは、北アメリカの南北に延びるアパラチア山脈の南方で暮らした、イギリス系移民の持ち込んだ民謡やバラッドといった音楽がベースになっています。白人のミュージシャンが多く、アコースティックギターやバンジョー、ウッドベースといった楽器を使用する、庶民が日常で感じたことを歌詞にするという点も、カントリーとフォークの共通点です。ルーツをともにし音楽的な共通点の多い両ジャンルですが、歌詞により訴えるテーマと音楽から受ける印象に大きな違いがあります。カントリーは仕事への不満や色恋などをテーマにした素朴な音楽ですが、フォークは社会や政治への反抗を主張するメッセージ性の強い音楽です。



### フォークのミュージシャン

#### ウディ・ガスリー(1912 - 1967)

移動労働者として長い放浪生活を送ったウディ・ガスリーの楽曲の原点は、そこで見た人々や社会の姿です。自作のプロテストソングを歌うことで人気となり、1940年代以降は反戦歌など多くの代表曲を生み出しました。フォークリバイバルのムーブメントを最も盛り上げた彼は現代フォークソングの始祖と称され、ピート・シーガーやボブ・ディラン、ブルース・スプリングスティーンなど多くのミュージシャンが、ガスリーの曲を歌い継いでいます。

#### ボブ・ディラン(1941 -)

ボブ・ディランは、フォーク界の若き英雄と称されました。1962年にアルバムデビューして以来、『風に吹かれて』『ミスター・タンブリンマン』『ライク・ア・ローリング・ストーンズ』などの歴史的名曲を発表し続け、アルバムセールスは全世界で1億枚を超えられています。アコースティックギターのフォークからエレキギターのフォークロックへと移行し、ロックの殿堂入りやグラミー賞、ノーベル文学賞などを受賞し、さまざまなミュージシャンに影響を与えました。



### フォークの名曲

#### わが祖国

1940年にウディ・ガスリーが書いた『わが祖国』は、彼の最も有名な曲として知られています。貧困や差別などへの怒りや悲しみとともに、祖国への愛着や希望といったポジティブな感情が込められたこの曲は、コミュニティとしてのアメリカに生きる人々への応援歌です。自らの経験から生まれたメッセージ性のある詩は、その後のフォーク楽曲のお手本になりました。

#### 風に吹かれて

1963年にリリースされたボブ・ディランのセカンドアルバム『フリーホイーリン』に収録されるのにシングルカットされた曲です。カバー曲として人気が出てからは、反戦や公民権運動などの場で歌われることが多くなり、ディランがプロテストソングのソングライターとして注目を集めるきっかけになりました。時代を超えて数多くのミュージシャンにカバーされ、ディランの代表曲として世界中に知られています。



### 歌詞の世界を変えた ボブ・ディラン

ボブ・ディランは、「新たな詩的表現を創造した」として、2016年に歌手として史上初のノーベル文学賞を受賞しました。ディランは詩人のディラン・トーマスに憧れて改名したと言われるほど、詩的な歌詞を書くことで知られています。ディランの『風に吹かれて』がヒットするまでは、ヒット曲といえばほとんどが恋の歌でしたが、ディランは戦争や差別といった世の中の不条理を文学的に表現し、大ヒットへと導きました。恋の歌ばかり作ってきたビートルズがディランの影響を受けてメッセージ性のある曲を作るようになったと言われています。

